

令和 6 年度

景況・業況動向調査

上半期（令和 6 年 1 月～ 6 月）

令和 6 年 1 1 月

大 牟 田 商 工 会 議 所

大牟田商工会議所 令和5年度上半期（令和5年1月～6月）景況・業況動向調査

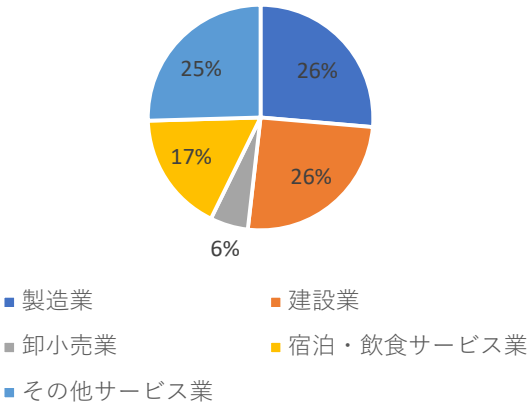
【調査対象】 市内会員事業所 600社（無作為） 【回答数】 110件（回答率：18.3%）

【調査方法】 アンケートを郵送し、記入後返送

Ⅰ. 貴社の業種に○印を付けてください。

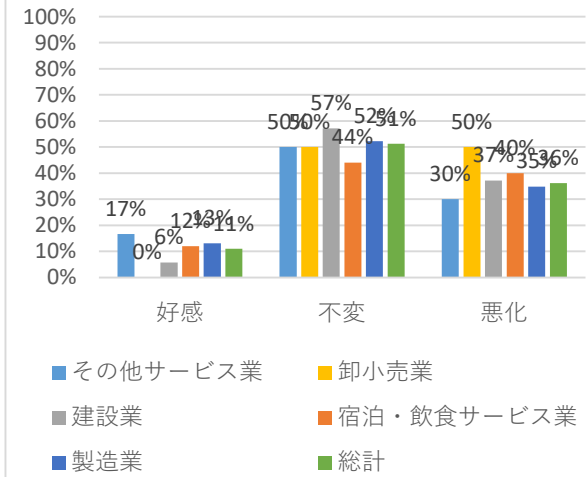
製造業	29 /120社中
建設業	28 /120
卸小売業	6 /120
宿泊・飲食サービス業	19 /120
その他サービス業	28 /120
計	110 /600

業種（回答数110件）

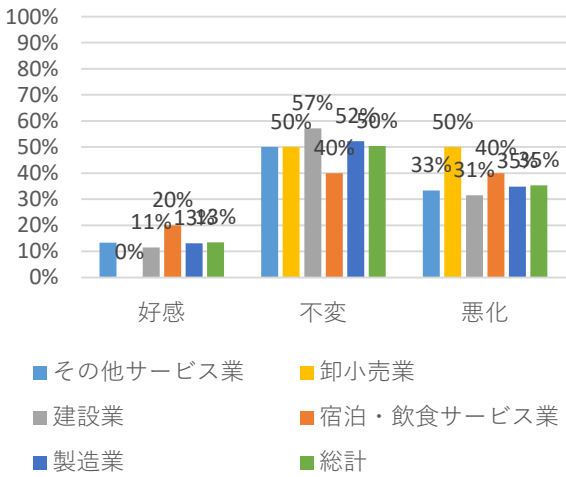


Ⅰ. 貴社の景況・業況の動向についてお伺いします。今期上半期（令和6年1月～6月）の貴社の状況は、前年同期(R5.1～6)および前期下半期(R5.7～12)と比較してどうですか。また、今期下半期(R6.7～12)の見通しは今期下半期と比較してどうですか。

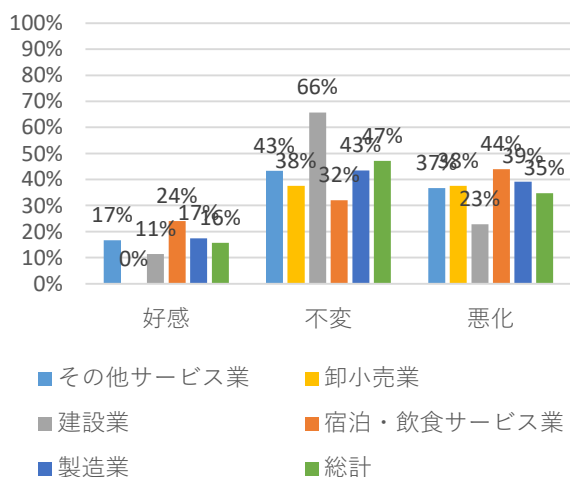
景況感 前年同期比較



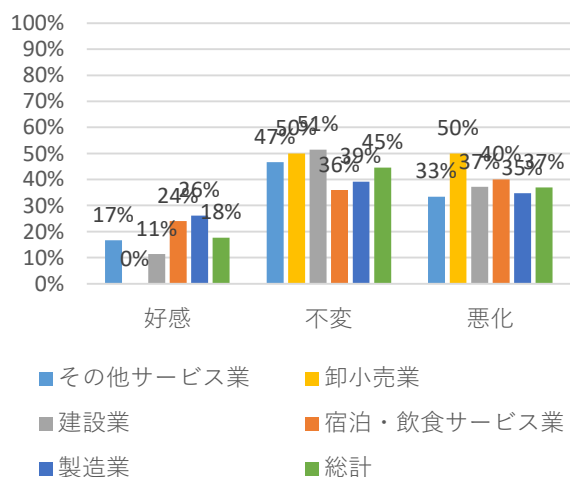
景況感 下半期比較



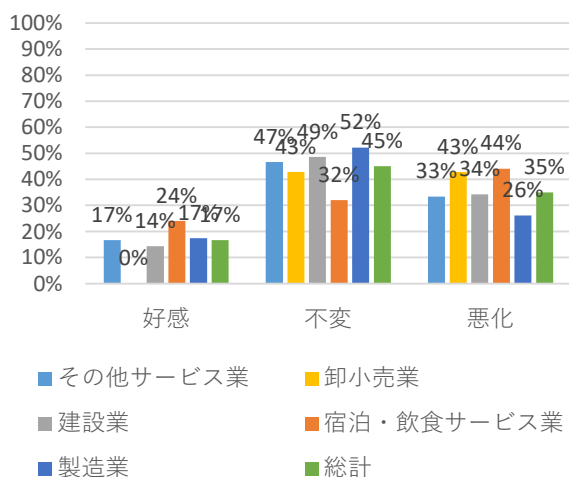
景況感 今期下半期見通し



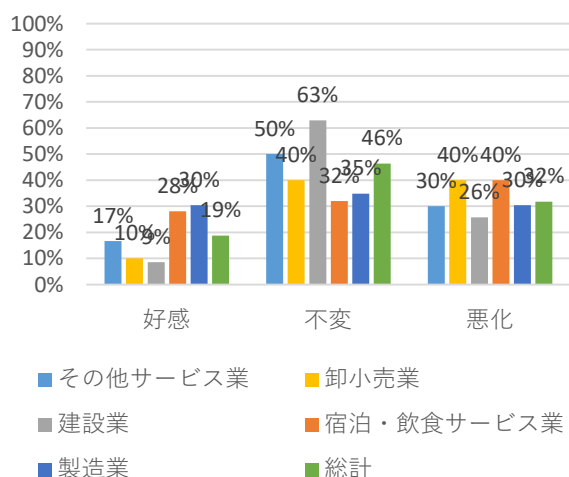
売上感 前年同期



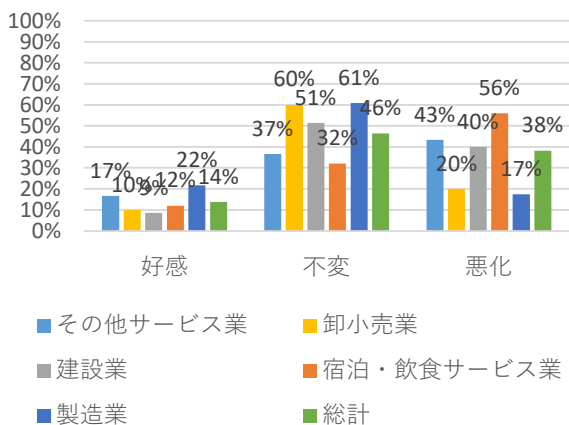
売上感 前年下半期



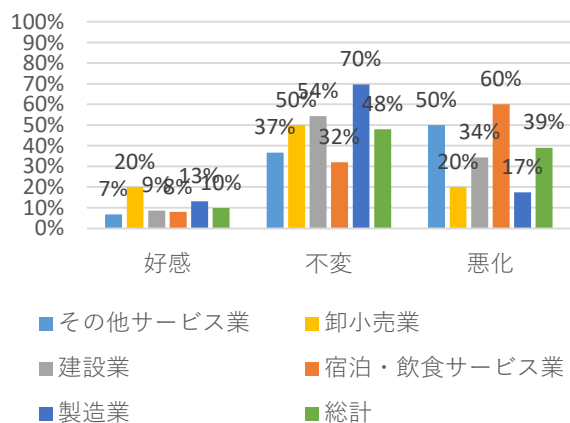
売上感 今期下半期見通し



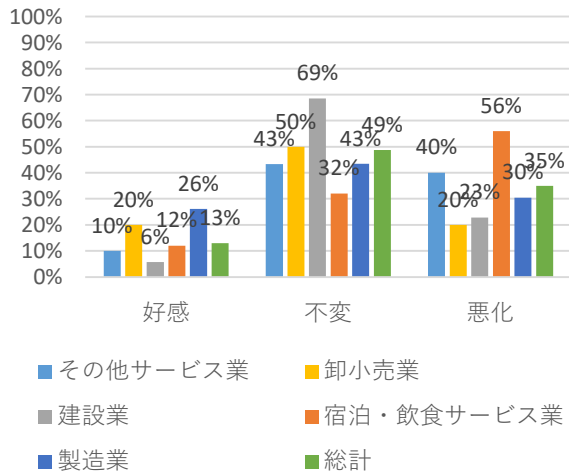
採算 前年同期比較



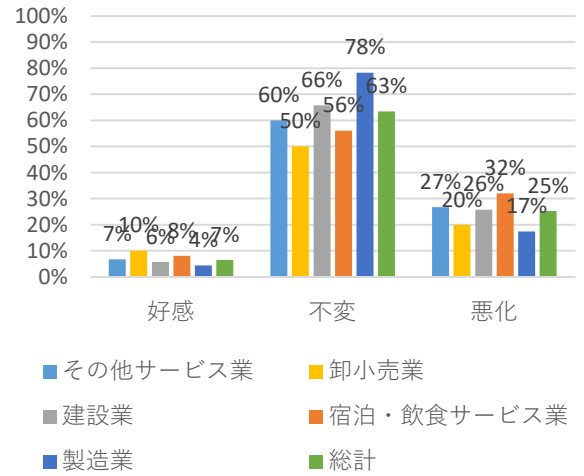
採算 前年下半期



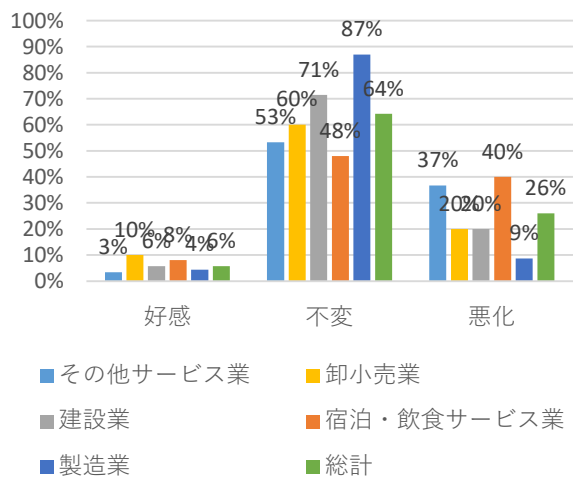
採算 今期下半期見通し



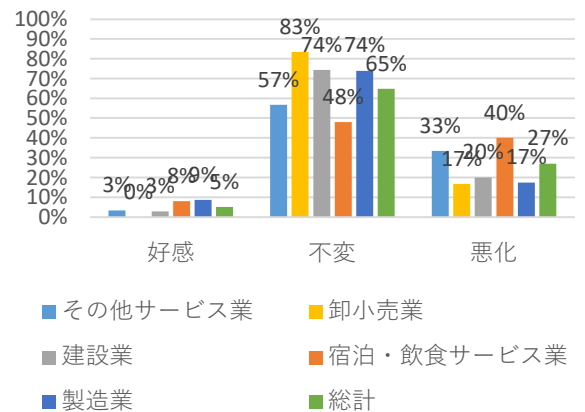
資金繰り 前年同期比較



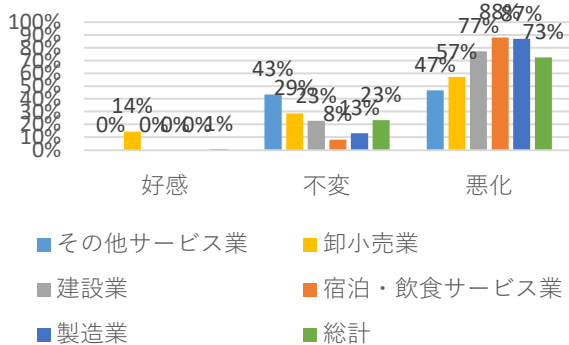
資金繰り 前年下半期比較



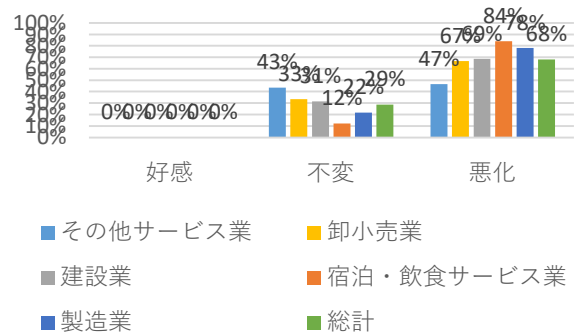
資金繰り 今期下半期見通し



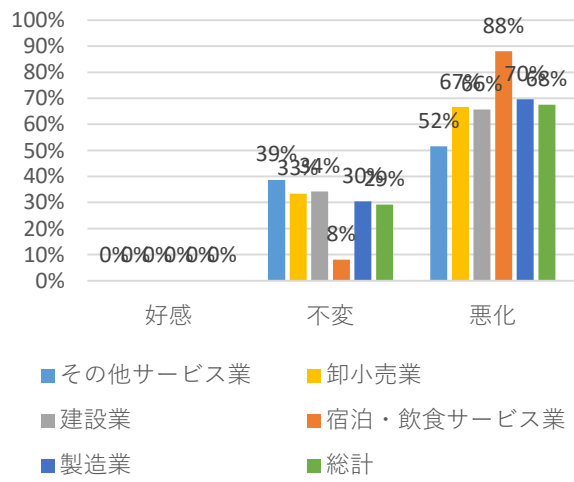
仕入 前年同期比較



仕入 前年下半期



仕入 今期下半期見通し



DI値を集計（DI＝「良いとする回答割合」－「悪いとする回答割合」）

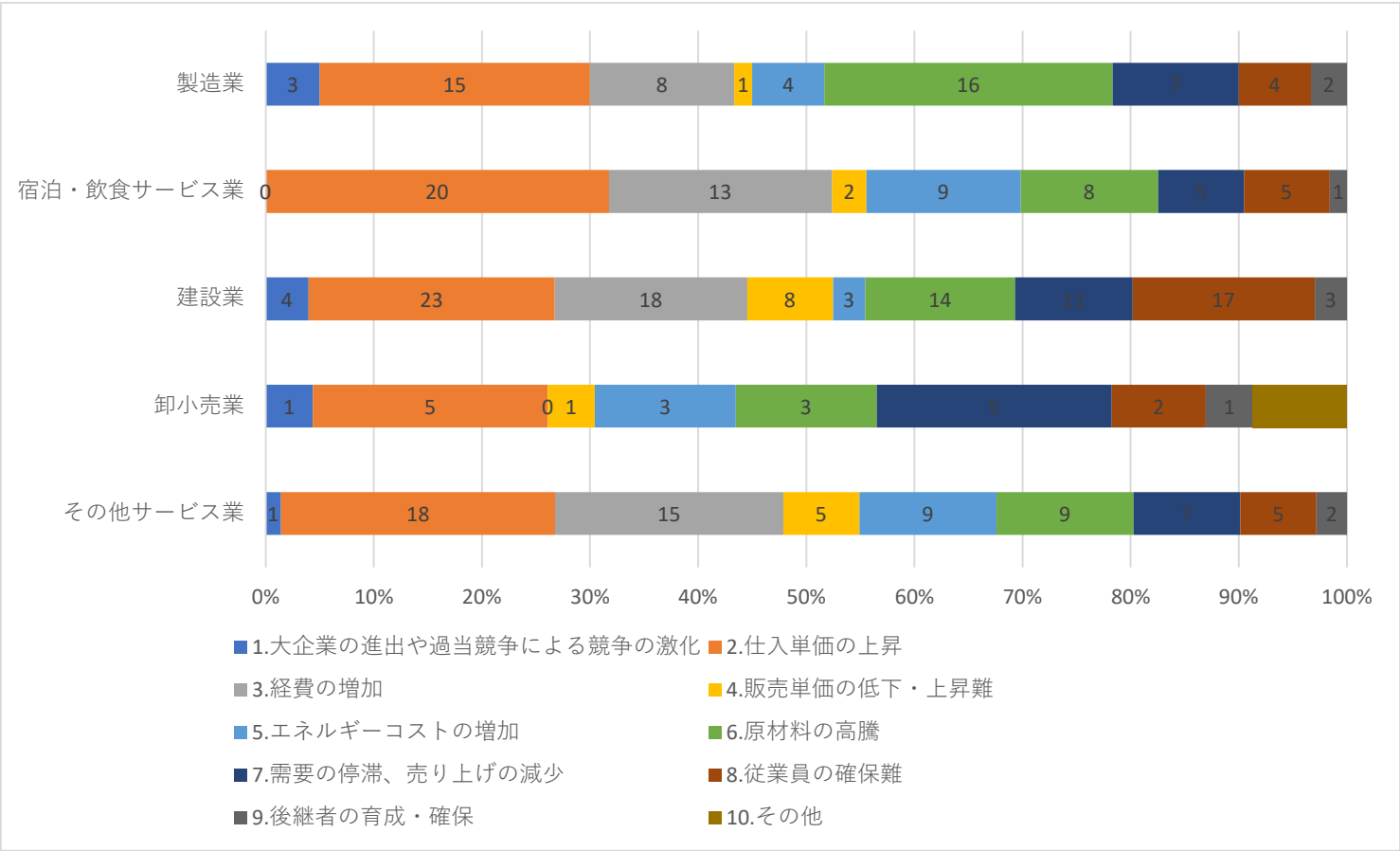
DI・・・Diffusion Index（景気動向指数）の略

										単位（％）
		前年比較								
		令和５年下半期			DI値	令和6年上半期			DI値	前半期比 DI値比較
		好転	不変	悪化		好転	不変	悪化		
景況感	製造業	19	39	42	▲ 23	13	52	35	▲ 22	1
	建設業	3	66	31	▲ 29	13	46	42	▲ 29	-1
	卸小売業	14	28	59	▲ 45	6	57	37	▲ 31	13
	宿泊・飲食サービス業	53	21	26	26	0	50	50	▲ 50	-76
	その他サービス業	21	46	32	▲ 11	17	52	31	▲ 14	-3
	全体	19	42	39	▲ 20	11	52	37	▲ 26	-6
売上高	製造業	26	42	32	▲ 6	26	39	35	▲ 9	-2
	建設業	14	54	31	▲ 17	24	36	40	▲ 16	1
	卸小売業	3	38	59	▲ 55	11	51	37	▲ 26	29
	宿泊・飲食サービス業	58	21	21	37	0	50	50	▲ 50	-87
	その他サービス業	29	36	36	▲ 7	17	48	34	▲ 17	-10
	全体	23	40	37	▲ 13	18	45	37	▲ 19	-6
採算(経常利益)	製造業	10	42	48	▲ 39	22	61	17	4	43
	建設業	6	57	37	▲ 31	12	32	56	▲ 44	-13
	卸小売業	7	34	59	▲ 52	9	51	40	▲ 31	20
	宿泊・飲食サービス業	42	21	37	5	11	67	22	▲ 11	-16
	その他サービス業	11	54	36	▲ 25	17	38	45	▲ 28	-3
	全体	13	44	44	▲ 31	14	47	39	▲ 25	6
資金繰り	製造業	3	74	23	▲ 19	4	78	17	▲ 13	6
	建設業	9	66	26	▲ 17	8	58	33	▲ 25	-8
	卸小売業	3	59	38	▲ 34	6	68	26	▲ 21	14
	宿泊・飲食サービス業	11	58	32	▲ 21	13	63	25	▲ 13	9
	その他サービス業	11	68	21	▲ 11	7	64	29	▲ 21	-11
	全体	7	65	27	▲ 20	7	67	26	▲ 20	1
仕入(材料)単価	製造業	0	26	74	▲ 74	0	13	87	▲ 87	-13
	建設業	0	14	86	▲ 86	0	8	92	▲ 92	-6
	卸小売業	0	14	86	▲ 86	0	23	77	▲ 77	9
	宿泊・飲食サービス業	0	11	89	▲ 89	14	29	57	▲ 43	47
	その他サービス業	0	50	50	▲ 50	0	48	52	▲ 52	-2
	全体	0	23	77	▲ 77	1	24	75	▲ 74	3

[illegible]

		来期見通し比較								
		令和 5 年下半期			DI値	令和6年上半期			DI値	前半期比 DI値比較
		好転	不変	悪化		好転	不変	悪化		
景況感	製造業	10	55	35	▲ 26	13	52	35	▲ 22	4
	建設業	6	66	29	▲ 23	20	40	40	▲ 20	3
	卸小売業	10	17	72	▲ 62	11	57	31	▲ 20	42
	宿泊・飲食サービス業	21	42	37	▲ 16	0	50	50	▲ 50	-34
	その他サービス業	18	54	29	▲ 11	14	52	34	▲ 21	-10
	全体	12	48	40	▲ 28	14	51	36	▲ 22	6
売上高	製造業	23	39	39	▲ 16	18	55	27	▲ 9	7
	建設業	9	66	26	▲ 17	24	32	44	▲ 20	-3
	卸小売業	7	31	62	▲ 55	15	50	35	▲ 21	35
	宿泊・飲食サービス業	26	42	32	▲ 5	0	50	50	▲ 50	-45
	その他サービス業	21	46	32	▲ 11	17	48	34	▲ 17	-7
	全体	16	46	38	▲ 22	17	47	36	▲ 19	3
採算(経常利益)	製造業	10	39	52	▲ 42	13	70	17	▲ 4	38
	建設業	9	57	34	▲ 26	8	32	60	▲ 52	-26
	卸小売業	10	28	62	▲ 52	9	56	35	▲ 26	25
	宿泊・飲食サービス業	21	42	37	▲ 16	22	56	22	0	16
	その他サービス業	11	54	36	▲ 25	7	39	54	▲ 46	-21
	全体	11	44	44	▲ 33	10	50	40	▲ 30	3
資金繰り	製造業	3	74	23	▲ 19	4	87	9	▲ 4	15
	建設業	9	63	29	▲ 20	8	50	42	▲ 33	-13
	卸小売業	3	66	31	▲ 28	6	74	21	▲ 15	13
	宿泊・飲食サービス業	5	58	37	▲ 32	11	67	22	▲ 11	20
	その他サービス業	7	68	25	▲ 18	4	57	39	▲ 36	-18
	全体	6	66	28	▲ 23	6	67	27	▲ 21	1
仕入(材料)単価	製造業	0	29	71	▲ 71	0	22	78	▲ 78	-7
	建設業	0	20	80	▲ 80	0	13	88	▲ 88	-8
	卸小売業	0	21	79	▲ 79	0	31	69	▲ 69	11
	宿泊・飲食サービス業	0	11	89	▲ 89	0	33	67	▲ 67	23
	その他サービス業	0	54	46	▲ 46	0	48	52	▲ 52	-5
	全体	0	27	73	▲ 73	0	30	70	▲ 70	2

Ⅲ.今期上半期（令和6年1月～6月）直面している経営上の問題について、お伺いします。該当番号に



製造業

●今期上半期の景況感をご記入ください。

- ・コロナ明け販売数量の低下を補うための特売の為、販売単価の低下のところに賃金の上昇で最悪である
- ・前期下半期から今期上半期にかけて好転し、売上高、利益にも若干ではあるが反映しているように思う。
- ・すこし衰退気味。
- ・良好。
- ・原材料の高騰で仕入ルートを検討しなければならない状況だと思います。
- ・2割程減少
- ・例年と大差なし。

●問題点や対応策を具体的にご記入ください。

- ・各コストの上昇。対応策は特売での販売数量の確保。
- ・材料費、人件費の高騰などで利益率の低下により利益の確保が難しい状況。コスト削減などの企業努力で対策。
- ・売上だけ見通しが暗い。
- ・人の確保
- ・物価高により買い控え。コスト増加。価格の見直し。
- ・販価アップ。
- ・一部下請け業務をしているが、各種高騰による値上げを申し込むも応じてもらえず困っている。

建設業

●今期上半期の景況感をご記入ください。

- ・前年と変わらない。
- ・すべての単価や経費増加でやむおえず、値上げするが、理解の相違が大きすぎる。
- ・多少悪化すると思っていましたが前期あまり変わらなかったです。
- ・悪化していると感じる。

●問題点や対応策を具体的にご記入ください。

- ・需要の停滞、対応策を検討しています。
- ・競争激化と後期高齢化、後継者不足により個人事業主は激減すると思う。一つ一つ理解を得られるように精進し、後継者の育成に励み、過当競争にも打たれ強くなる事を努力し続けること。
- ・仕入れ単価の上昇を売り上げに反映させていきたい。
- ・工事量が少ない。
- ・業界全体で人材確保が困難。材料が高騰。

卸小売業

●今期上半期の景況感をご記入ください。

- ・悪い。

●問題点や対応策を具体的にご記入ください。

- ・円安による仕入れ価格の大幅高騰。

飲食サービス業

●今期上半期の景況感をご記入ください。

- ・客数の増減があり、予想が立てにくい。
- ・団体などでの利用が減った。深夜帯の動きが鈍い。
- ・売上高は横ばいですが多少の値上げによるもので実質的には減少です。来客数減少。
- ・上半期に赤字を出して以降、資金繰りが厳しい状況です。
- ・コロナ禍よりお客さんが増えない。

●問題点や対応策を具体的にご記入ください。

- ・ロスをなくす。メニューを絞り、作業を簡単にして、人手不足に対応。夏の高温が続き、電気代が抑えられない。
- ・次から次へと原材料の値上、メニュー表の作りようがない状況です。原価計算も追いつかない様です。
- ・借入金の返済を猶予してもらい、その間売り上げを伸ばし、資金繰りを円滑に戻す。
- ・根本的な政治が変わらなければ苦しくなるばかり。

その他サービス業

●今期上半期の景況感をご記入ください。

- ・以前より新規客が少なくなった、また来店されても店側が対応できていない（人手不足）。
- ・仕入れ・経費の増加・人材難で、売上低下。
- ・停滞している。
- ・物価が上がり、電気代がすごく高い。全体的に買い物を控えていると言われる方が多いため景況感はいくつかよくない。
- ・まずまず上昇感あり。
- ・美容室です。ヘアカラーを節約しようとセルフヘアカラーを始めた、カラー専門店に行く方が増えている。
- ・親会社からの賃上げで売上好転と共に従業員採用により売上好転。
- ・経費は上がるが価格転嫁しにくい。
- ・不景気。

●問題点や対応策を具体的に記入してください。

- ・スタッフを増やしたいが新規のスタッフを教育するスタッフも時間の制限があるので難しい。
- ・外国人の労働力を増やしている。
- ・来店されたお客様が笑顔で帰られるように努力するのみです。
- ・30度越えが続く中大型の台風の影響もあり、先月はスタッフの安全も考え、2日ほど急ぎ店を閉めた。
- ・運転資金が足りずに毎日、売上を上げることを努力している。
- ・売り上げ減少、下半期客単価を引き上げた。
- ・雇用問題、職人さんを確保したい
- ・公式Lineやインスタグラムを活用して集客したりサービスの提案をする。

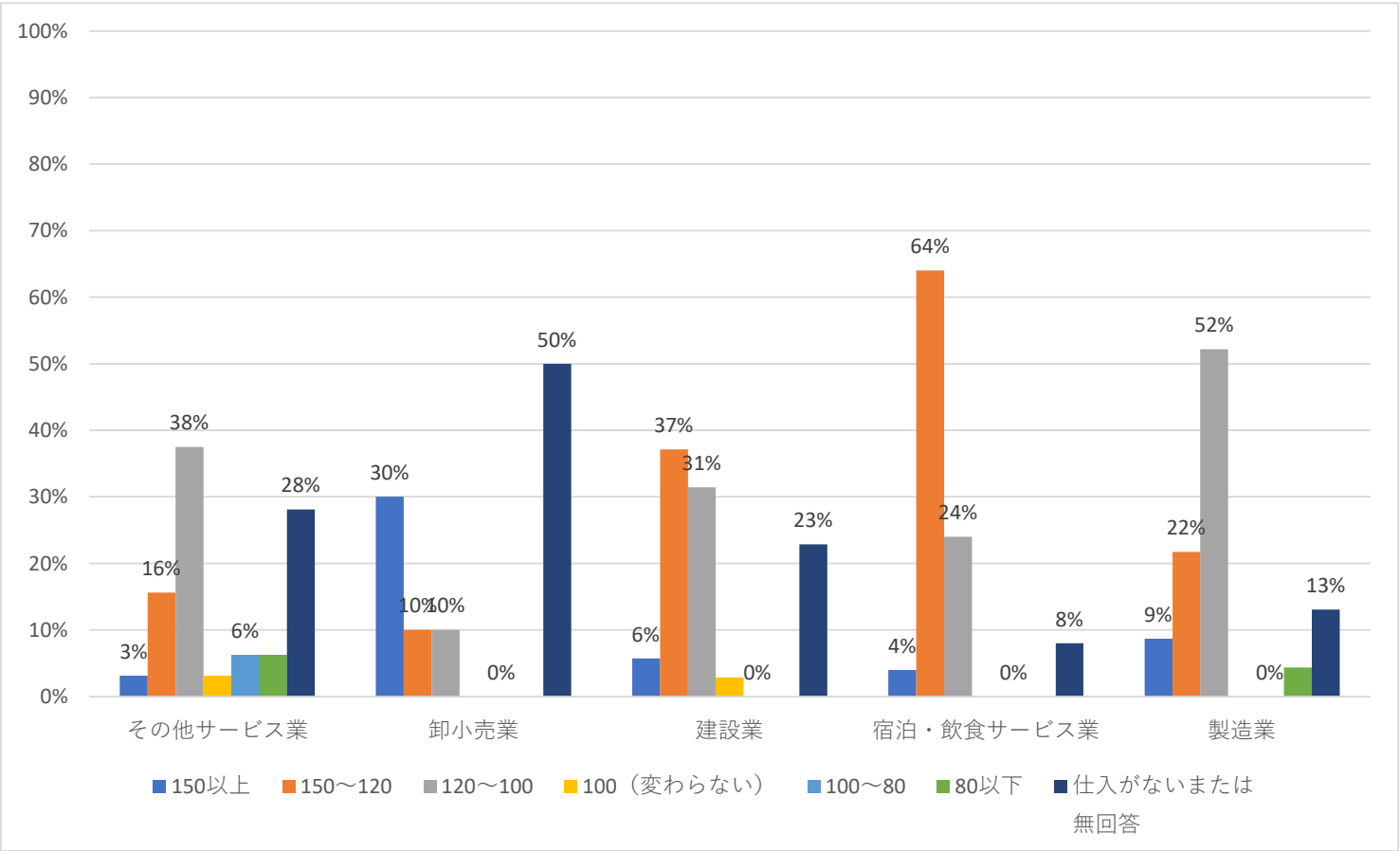
*従業員の高齢化により技能等の伝達が今後の課題。

- ・従業員の確保。

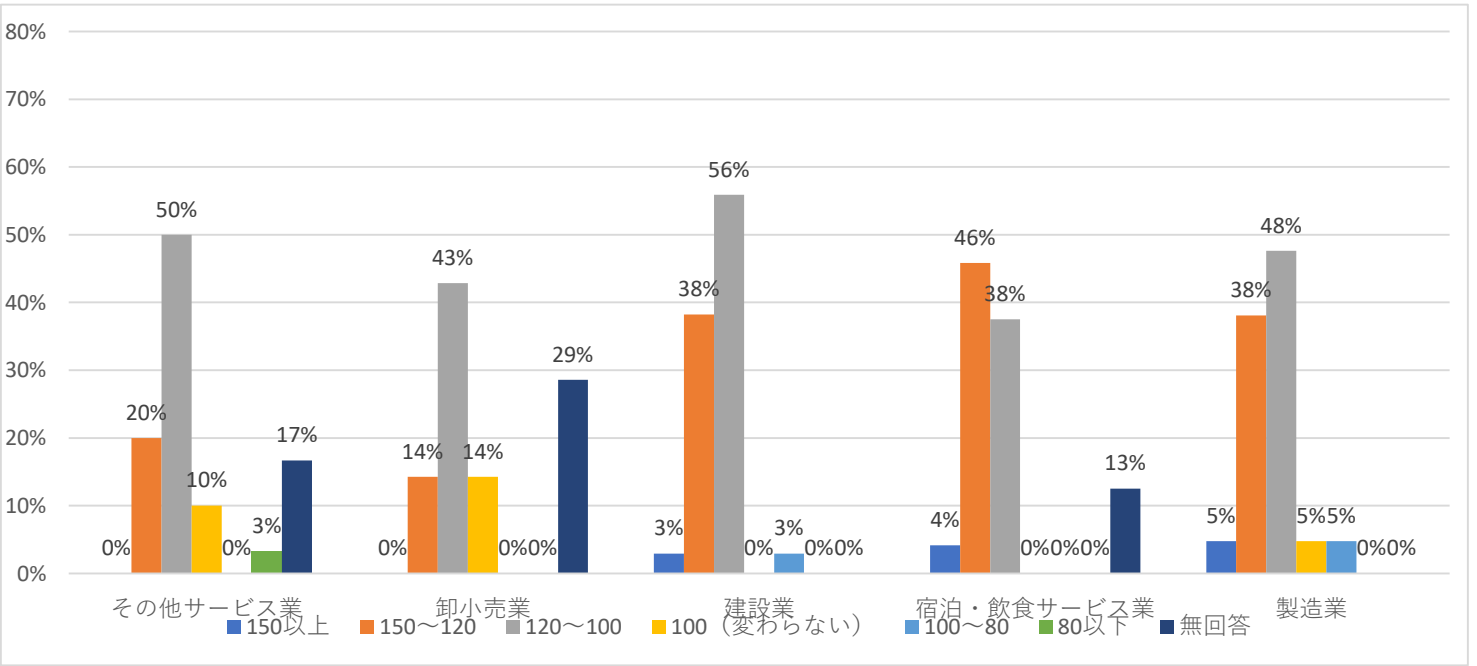
- ・値上げにより仕入れ額増加。合せて請求額を上げるしかない。

IV. 原材料・原油・エネルギー価格、仕入価格等の上昇について

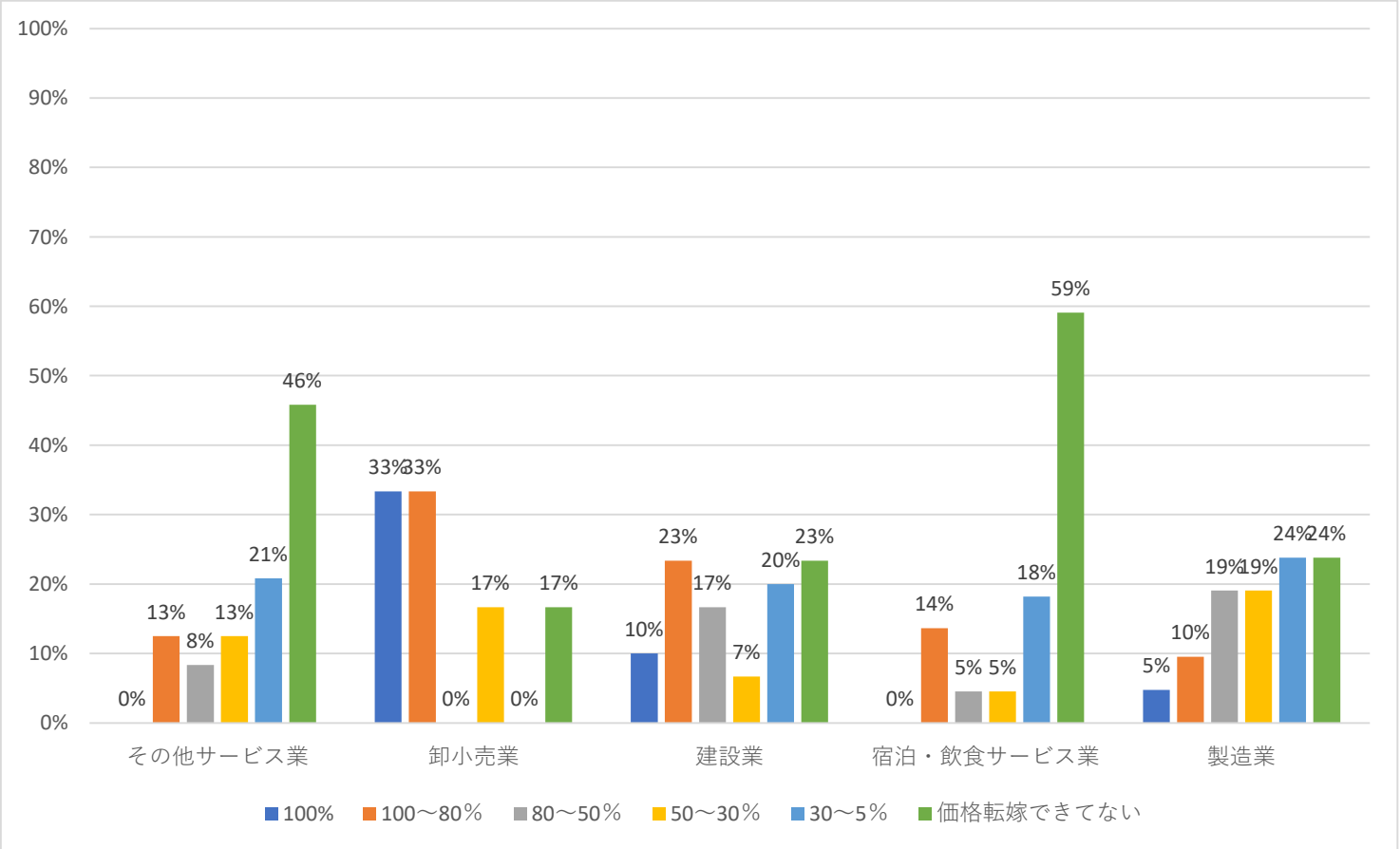
1. 仕入価格は1年前を100とするとどの程度になりましたか。（※仕入れのある事業所のみ）



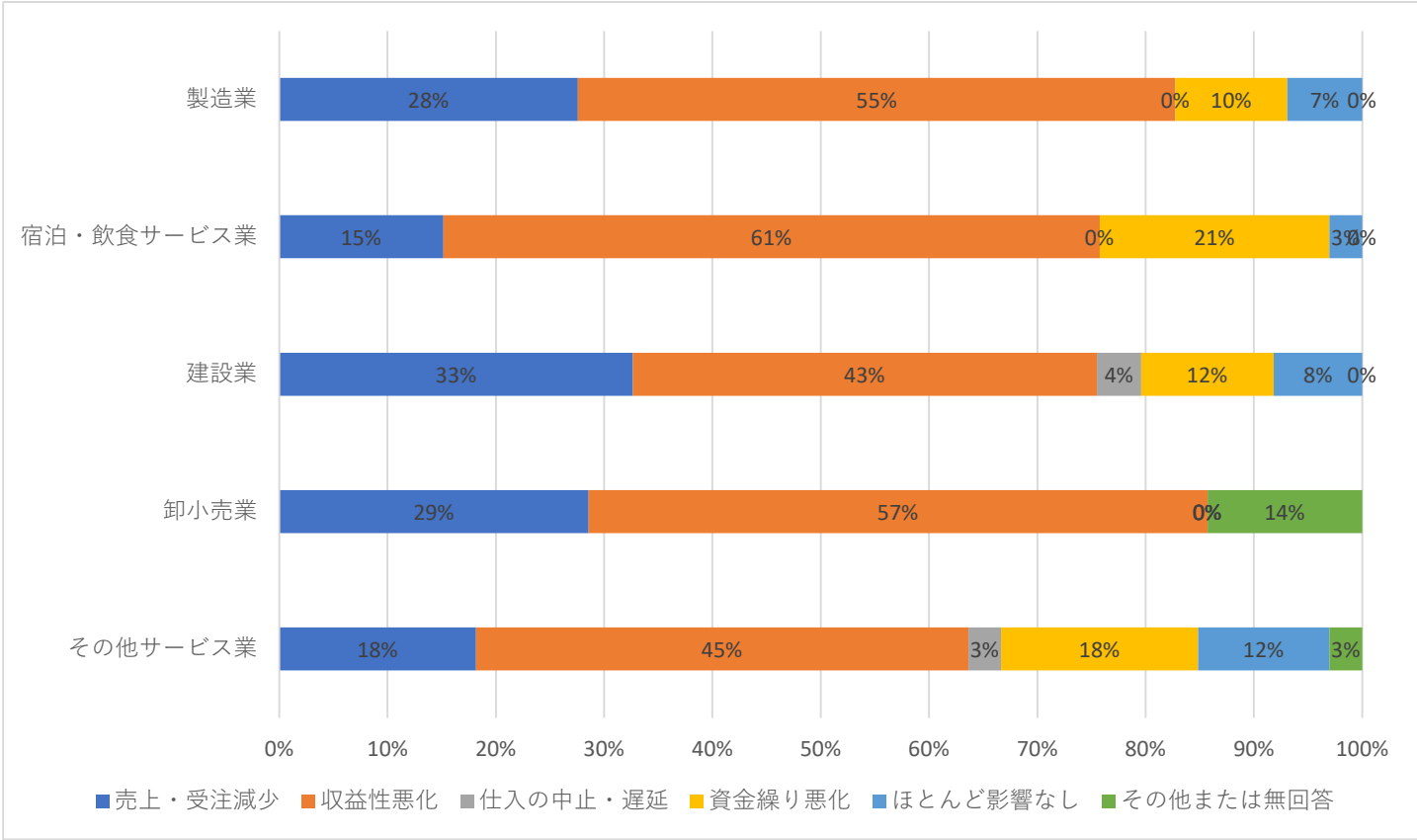
2. 原油・エネルギー価格上昇による経費（外注費含む）は1年前を100とすると、どの程度になりましたか。



3. 価格高騰に対して何%価格転嫁ができていますか。



4. 価格高騰により経営にどのような影響がありますか。（複数回答可）



製造業

5. 原油・原材料等の価格上昇について、実施を検討している対策をご記入ください。

- ・ 価格の低いところの模索 O R 変更。
- ・ 節電、発注量を抑える。
- ・ 販売価格に値上げ。
- ・ 仕入れ先、内容量の変更等。
- ・ 販価アップ。
- ・ 販売価格への転嫁

6. 原油・原材料等の価格上昇に対して望む支援策をご記入ください。

- ・ 価格の下落。
- ・ 補助金

建設業

5. 原油・原材料等の価格上昇について、実施を検討している対策をご記入ください。

- ・ 材料メーカーを価格の安いほうに変える。
- ・ 見積有効期限の管理。
- ・ エコカー・L E D 等の変換
- ・ 原材料等、経費以外での価格調整。

6. 原油・原材料等の価格上昇に対して望む支援策をご記入ください。

- ・ 買い替えへの支援
- ・ 具体的に補助金等で制度を整えないと厳しいと思う。

卸小売業

5. 原油・原材料等の価格上昇について、実施を検討している対策をご記入ください。

- ・ 特になし。

6. 原油・原材料等の価格上昇に対して望む支援策をご記入ください。

- ・ 特になし。

飲食サービス業

5. 原油・原材料等の価格上昇について、実施を検討している対策をご記入ください。

- ・商品値上げを検討していますが、客離れが不安で実行できずにいる。
- ・販売単価の引き上げをしたいが消費が下降にあり、厳しい現実です
- ・単価が安くあがる電気会社への乗り換え。
- ・節電、節水を呼びかけるができていない。仕入れ上昇で、安いところを探す。
- ・賃上げするしかない。

6. 原油・原材料等の価格上昇に対して望む支援策をご記入ください。

- ・当面の間、消費税を廃止。または、税率を引き下げることによる経済の活性化。
- ・価格上昇が止まらないので資金繰りの追加融資の支援。
- ・原料の高騰、容器の価格の度重なる値上げで容器代をいただく予定。
- ・水道光熱費、社会保険料など公的費用の値下げを望みます
- ・原油に代わるもの

その他サービス業

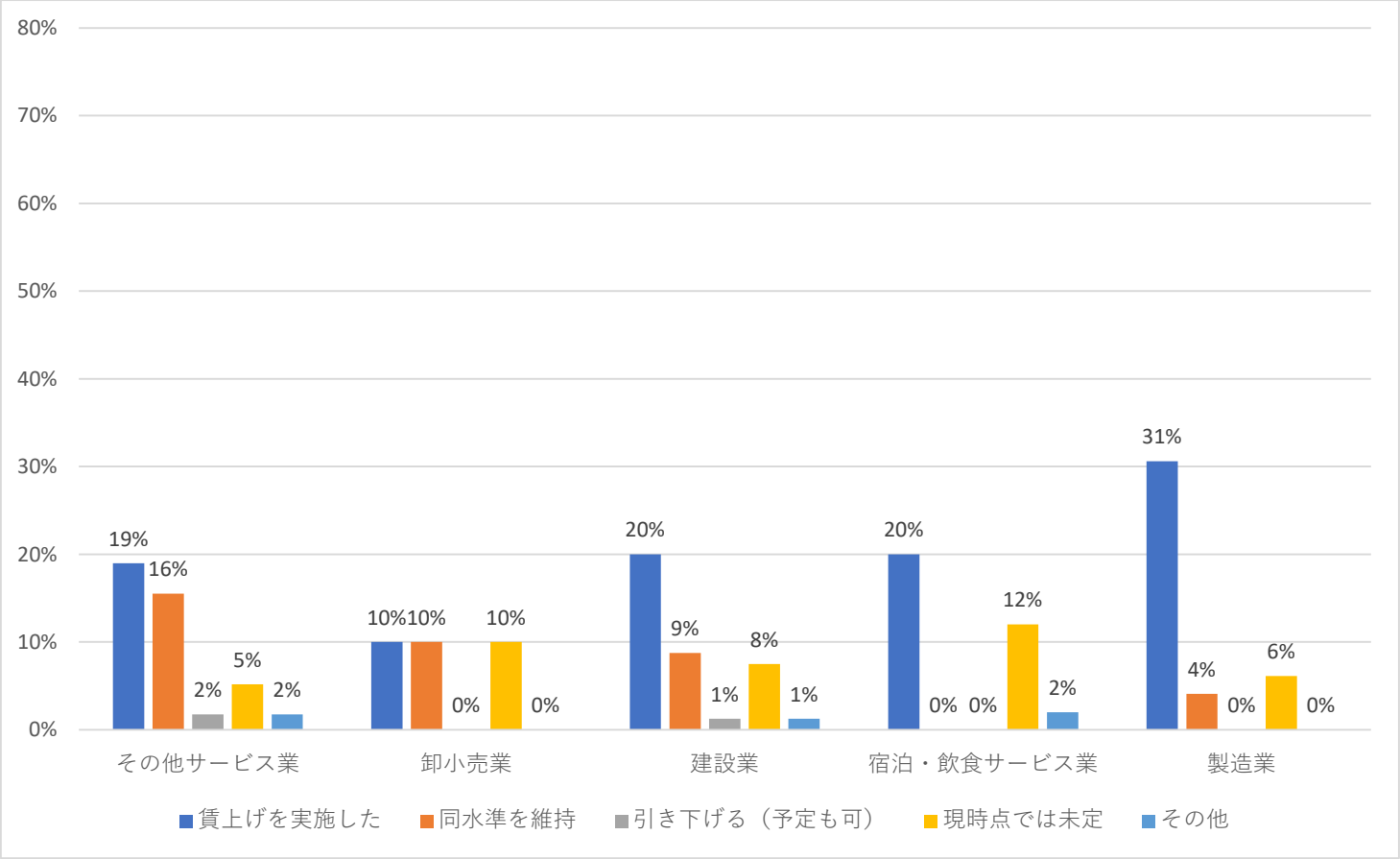
5. 原油・原材料等の価格上昇について、実施を検討している対策をご記入ください。

- ・客単価を上げる。
- ・材料単価の安いものに変え、在庫を少なくしている。
- ・値上げ。
- ・お客様のニーズに合わせて都度検討・交渉。
- ・仕入れ先の検討（節約のため）。

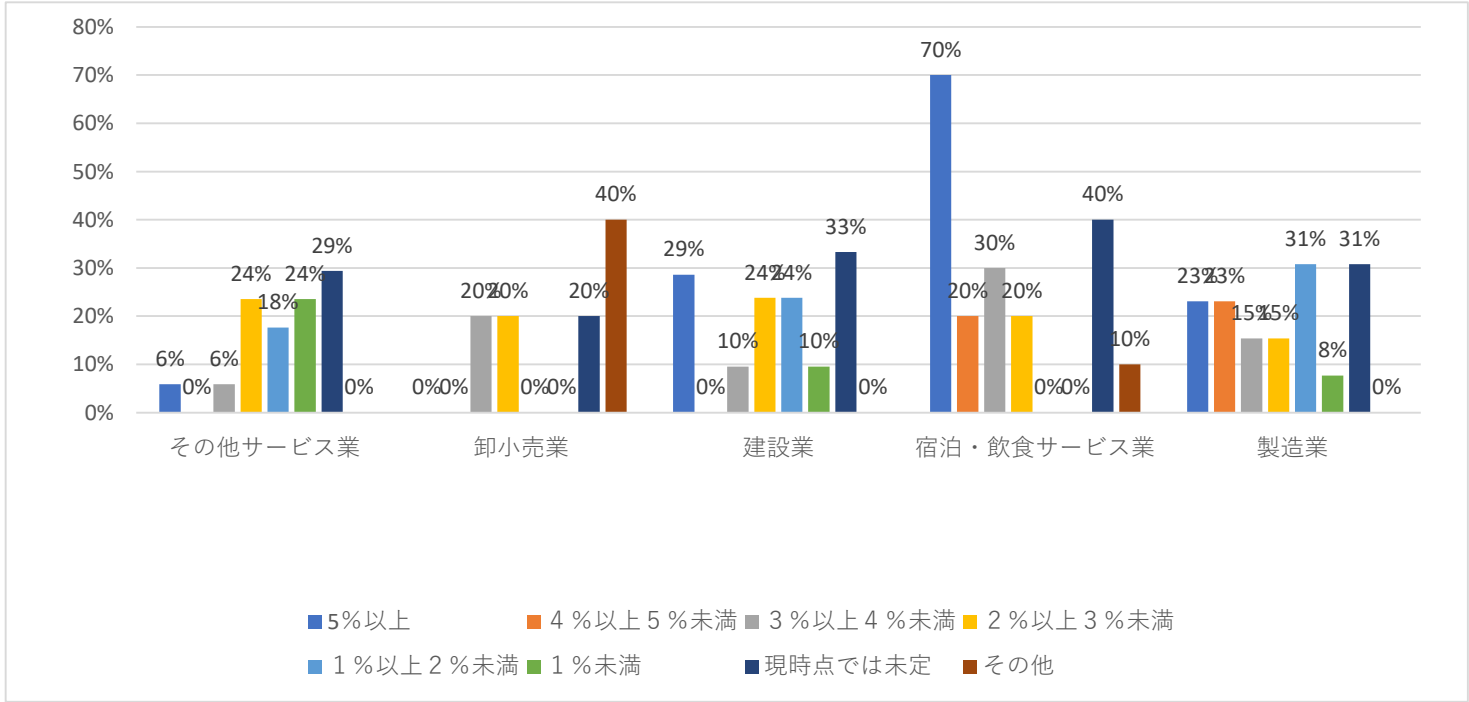
6. 原油・原材料等の価格上昇に対して望む支援策をご記入ください。

- ・全般的な支援金の対策を希望。

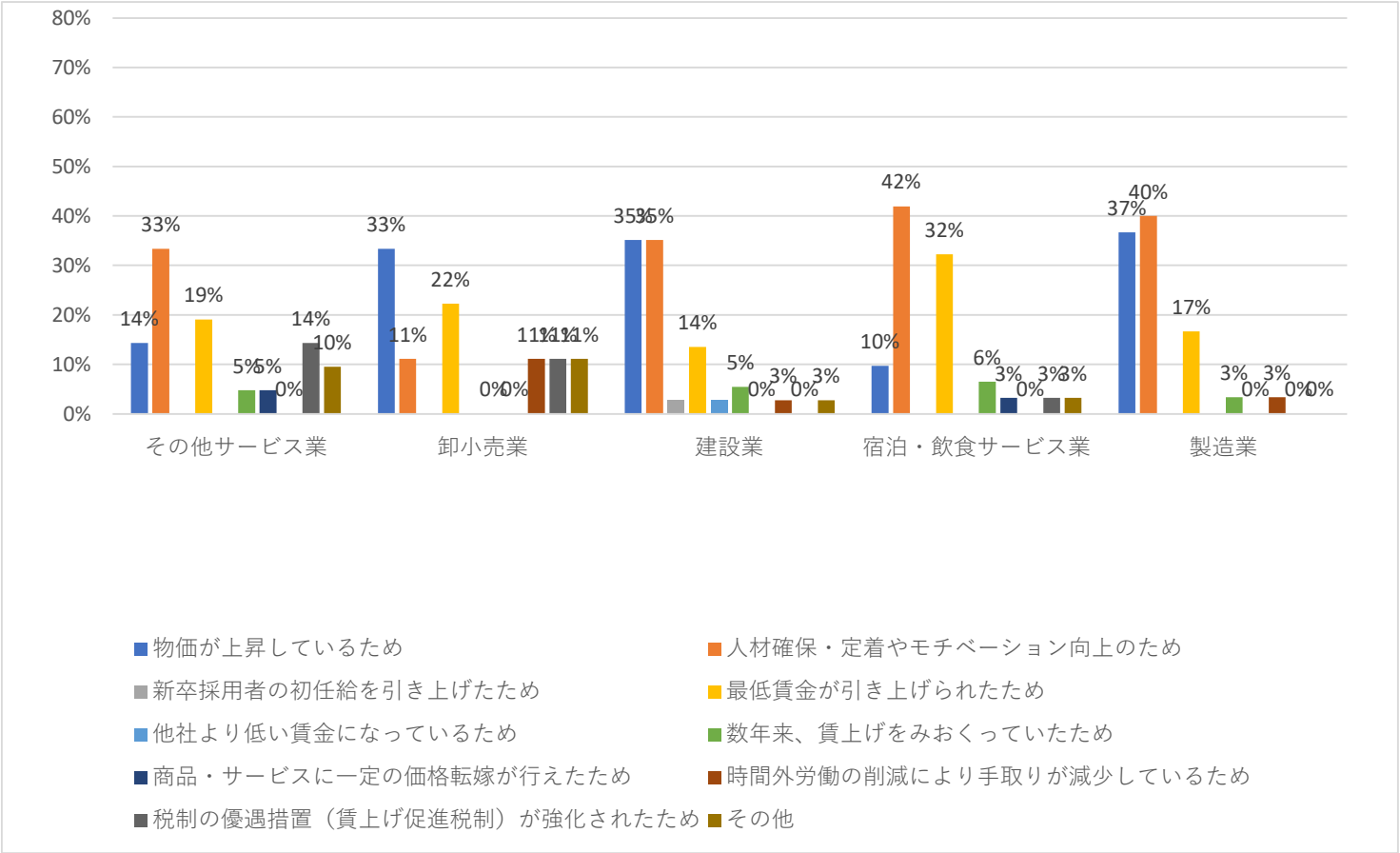
V.賃上げについて、お伺いします。（従業員を雇用している事業所のみ）
1 今年度の（R 6 年 4 月～R 7 年 3 月）の賃上げの実施状況を 1 つお選びください。



2.前年と比較した賃上げ率（給与総額の増加率/予定を含む）を 1 つお選びください。



3.今年度、賃上げを行う理由について、選択肢からお選びください。（複数回答可）



4.賃上げ全般に関するご意見をご記載ください。

製造業

4.賃上げ全般に関するご意見をご記載ください。

- ・最低賃金が商品製造作業と見合わない。
- ・売上高などに対して賞与などで補う。
- ・運転だけで精一杯で人員の確保のためには賃金の値上げは必須ですが、現状維持からなかなか一歩踏み出せずにいます。
- ・熊本半導体進出のため、流出防止を考えた。
- ・収益改善が必須ではあるが、賃上げは毎年行う。

建設業

4.賃上げ全般に関するご意見をご記載ください。

- ・中小企業にとって、毎年賃上げをすることは非常に厳しいことだと思います。
- ・賃上げを行いたいですが利益が出たとしても賃上げできるところまでいかない。
- ・最低賃金は年々上がるが、給与が上がらないのが実情。
- ・原資の確保が厳しくなっている

卸小売業

- ・ 賃上げ以前に事業継続のための売り上げ増加が必須。

飲食サービス業

- ・ 売上、経費、材料費等のバランスが整い、利益が上がること。
- ・ 原材料費より人件費の方が高くて売り上げに見合うようにするのが難しい
- ・ 賃上げを行うところには賛成だが、結局、給与が上がっても社会保険料も上がるので従業員の手取りは増えないし、会社の負担額は上がるのでただ税金の支払い額が増えているだけな気がします。

その他サービス業

- ・ 業種によっては最低賃金、賃上げ幅も差があったほうが良い。技術職は賃金を上げても技術がついていかない場合が多い。
 - ・ 税金、年収の壁を先に改定してほしい。
 - ・ 2年位前に時給を上げましたが、これいじょうは難しい。
 - ・ 売り上げが伸びない状況で特に個人経営では賃上げは難しいと思う。
- 人口が増えなければ消費力は減少していくと思う。
- ・ 賃上げすることで新規従業員を確保でき、現従業員のモチベーションの向上のため賃上げしたい。
 - ・ 賃上げ出る状況ならすこしずつ上げたほうがいい、物価高で厳しいため。
 - ・ 価格高騰で収益ができないのに賃金だけ上げるわけにはいかない。